

有人潜水調査船「しんかい6500」1000回潜航に伴う一般公開及び講演会について

海洋研究開発機構（理事長 加藤康宏）が運用する有人潜水調査船「しんかい6500」※1は、有人としては世界最深の潜水能力を持ち、平成2年6月の初潜航から17年間の運用を経て、今月中旬に通算1000回目の潜航を予定しています。この1000回の潜航達成を記念して、「しんかい6500」とその支援母船「よこすか」※2の一般公開および講演会を、下記のとおり東京港 晴海埠頭で実施しますのでお知らせします。

記

1. 日時：

（一般公開） 平成19年3月27日（火） 13:00～16:00（受付終了15:30）

28日（水） 10:00～16:00（受付終了15:30）

（講演会） 平成19年3月28日（水） 16:00～17:00

講演者：[ノンフィクション作家 山根一真氏](#) ※3

講演テーマ：「有人潜水船による深海調査の成果と展望」

講演概要：有人潜水調査船「しんかい6500」乗船での得がたい体験や深海調査への期待を映像の紹介もあわせて講演する予定。

2. 場所：

東京港晴海埠頭（[別紙 案内図](#)）

（講演会は晴海客船ターミナルホールで行います。）

3. 手続：

一般公開、講演会ともに参加の事前登録は、不要です。また、入場は無料です。

4. その他：

1) 悪天候等により中止となることがあります。中止の場合は、当機構ホームページのイベント情報http://www.jamstec.go.jp/jamstec-j/event_old/event-old.html でお知らせします。（講演会は、天候に関わらず実施します）

2) 見学者用の駐車場はありません。

3) 船内は段差が多く危険なため、ハイヒール・サンダル等での、または酒気を帯びての見学はご遠慮ください。

4) 小学生以下は、保護者が必ず同伴ください。

5. 参考：[ご案内リーフレット](#)

※1有人潜水調査船「しんかい6500」：



全長 9m、巾 2m、高さ 3m、
空中重量 26.7トン、最大潜航深度
6500m 有人潜水調査船としては世界
で最も深い6,500mの潜航能力を有し
ています。「よこすか」を支援母船
として、世界の海洋で潜航調査を行
い、深海において地震、地球の活動、
深海の生命体等に関する研究に貢献し
ています。詳細は次のホームページを
ご覧ください。

<http://www.jamstec.go.jp/ships/shinkai3.html>

※2：支援母船「よこすか」



全長 105m、巾 16m、高さ
7.3m、国際総トン数 4,439トン
「よこすか」の主な目的は、有人潜水
調査船「しんかい6500」の潜航支援
やマルチナロービーム音響測深機によ
る海底地形の精密探査です。船内
には、総合指令室、ラボラトリー（第
1～第3）、及び研究室があり、「し
んかい6500」及び母船の観測装置で
計測したデータの解析、採取したサン
プルの分析、保管のために使用す
ることができます。また、これら常設の設
備のほか、研究者が必要な機器を持
ち込み、設置することができます。詳
細は次のホームページをご覧ください。

<http://www.jamstec.go.jp/ships/yoko1.html>

※3：山根 一真氏

宇宙航空研究開発機構嘱託、中教育審議会専門委員（文部科学省）、宇宙開発委員会（文部科学省）特別委員などを歴任。

この3月中旬には、沖縄県石垣島沖鳩間海丘にて、有人潜水調査船「しんかい6500」に乗船を予定。

現在執筆中である、日本のモノづくりの底力を解き明かす「メタルカラーの時代」（『週刊ポスト』連載）では、有人潜水調査船「しんかい6500」も取り上げられた（2000年9月15日号）。

別紙

東京港 晴海埠頭 周辺図



都バス：晴海埠頭行きで終点下車
「都03系統」四ッ谷駅発
「都05系統」東京駅丸ノ内南口発
「東12系統」東京駅八重洲口発
「錦13甲系統」錦糸町駅発

お問合せ先：

（一般公開及び講演会について）

海洋地球情報部広報課長 柴田 桂 TEL：045-778-5440

（報道について）

経営企画室報道室長 大嶋 真司 TEL : 046-867-9193